

解答

一

- 問一 E ↓ (C) ↓ D ↓ B ↓ A
問二 1 エ 2 ア 3 ウ 4 イ 5 オ
問三 オ
問四 ① ウ ④ オ
問五 イ
問六 生まれつき体が弱く、病気がち（だった点。）
問七 エ
問八 かれは、名を求めず、利を求めなかった。
問九 エ
問十 ウ、カ

二

- 問一 a 貯水池 b 航海 c 幹 d 転〔がす〕 e 着想 f 向上
問二 ア けいてき イ じゅうだん ウ つ〔げる〕 エ どうにゅう オ ちようふく
カ こま〔かい〕

解説

問九

本文の終わりに着目します。かれの偉大さは、自分の火を、弟子たちの一人一人に移し続けたことであり、弟子たちのたいまつのは、後にそれぞれの分野でかがやき、日本の近代を照らす大きな明かりになったという内容から、選択肢エが選べます。

問十

本文の中盤にある「どのわか者も、勉強したくて、遠い地方から、はるばるとやってくるのである。」という記述や、適塾の建物は二階建てのただの民家であり、二階が塾生のね起きの場所であったことから、選択肢ウが本文の内容に合っていることがわかります。また、本文後半にある「洪庵は五十三才のときに江戸へ行き、そのよく年、あっけなくなってしまうた。」という記述から、選択肢カも本文の内容に合っていることがわかります。